

Press Release

報道関係者各位

平成 30 年 11 月 26 日

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS)

CCDS、製品分野別セキュリティガイドラインをスマートホーム分野に展開 ～スマートホームガイドライン Draft 版を公開～

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(会長:徳田 英幸 情報通信研究機構 理事長、代表理事:荻野 司 京都大学特任教授)は、2016 年 6 月および 2017 年 5 月リリースした、車載・IoT ゲートウェイ・金融端末(ATM)・決済端末(POS)の4分野に加え、スマートホーム分野の製品分野別セキュリティガイドライン Draft 版をリリース致しました。

平成 30 年度のスマートホーム分野のガイドラインの検討を進め、その検討成果として取りまとめたものです。なお、この取組みは、平成 30 年 5 月に組成したスマートホームWG^{*1}にて実施されたものです。

■CCDS 製品分野別セキュリティガイドライン(スマートホーム)Draft 版の概要

分野別セキュリティガイドライン(スマートホーム)Draft 版は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が策定した「つながる世界の開発指針^{*2}」および、IoT 推進コンソーシアムより発表されました「IoT セキュリティガイドライン^{*3}」を基本的な考え方として参照し、対象となるシステム構成や対策すべき脅威(狙われるポイント)とリスク(被害)をスマートホーム分野の視点で取り組むべきセキュリティ対策についてとりまとめています。

分野別ガイドラインの主な内容:

- ・対象とするシステム構成
- ・想定されるセキュリティ上の脅威
- ・製品ライフサイクルの各フェーズにおけるセキュリティの取組み
- ・脅威分析・リスク評価の方法
- ・製品全体およびセキュリティ対策機能の第三者セキュリティ評価
- ・IoT セキュリティガイドラインとの関連表

製品分野別セキュリティガイドラインは CCDS 公開資料サイト(以下の URL)をご参照ください。

https://www.ccds.or.jp/public_document/index.html

【重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS) 概要】

日常生活で利用する機器(生活機器)の中で、予期せぬ動作の発生により利用者の身体や生命および財産に影響を及ぼす可能性がある重要生活機器が存在し、それら機器をネットワーク接続したり他の機器と連携させたりしても安全・安心に利用できる環境を実現する必要があります。CCDS では重要生活機器のセキュリティ技術に関する調査研究、ガイドラインの策定や標準化の検討、及び普及啓発を行い、もって我が国のものづくり産業の発展と新規事業創造、そして国民生活の向上に寄与することを目的として活動しています。

重要生活機器連携セキュリティ協議会に関する詳細は以下の Web サイトをご参照ください。

<http://ccds.or.jp/about/index.html>

※1:CCDS「スマートホームWG」

活動概要:スマートホームの機器連携及びセキュリティに関する国内外のスタンダードの策定を目指す

- 1、スマートホームのセキュリティ対策機器の選定(利用者目線・事業者目線)
- 2、スマートホームの通信・セキュリティガイドラインおよびリファレンスモデルの策定

主 査:積水ハウス株式会社

副 査:株式会社 LIXIL

※2:IPA「つながる世界の開発指針」

<https://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160324.html>

※3:IoT 推進コンソーシアム「IoT セキュリティガイドライン ver1.0」

<http://www.iotac.jp/wg/security/>

以上

お問い合わせ:

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会事務局

担当:松本、田久保

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-1 野田ビル 3F

TEL:03-6455-7193

E-MAIL: ccds-sec@ccds.or.jp